

食育問題

問 基本計画を作るべきでは

答 策定に向けて準備中です



田中 榮一 議員

【食育基本計画 策定について】

**問** 国は平成27年度までに市町村における基本計画設置を100%求めているが、今から策定準備に入るべきでは。

**村長** 現在基本計画策定の準備に向けて議論をしています。

国の新しい計画概要に沿った柱として、家庭における食育の推進、学校・保育所における食育の推進、地域における食生活の改善のための取り組みの推進、食育推進運動の展開、生産者と消費者との交流

促進・環境と調和の取れた農林漁業の活性化、食文化継承のための活動への支援、などを掲げ早期作業に入れるよう検討します。

**問** 生徒の生活習慣病早期発見のため、中学生の血液検査を公費で行うべきでは。

**長教育** 現在中学校では健康診断で血液検査を公費で行っています。肥満度30%以上、マイナス20%以下の生徒について個別指導をしています。早期発見より幼児からの生活習慣の改善による予防の方が大切と考えられています。

子どもの肥満は、大部分が肥満成人になり、糖尿病・高血圧・心筋梗塞・脳梗塞などにかかりやすくなります。日常生活の基盤である家庭における食育の推進にとりくんでまいります。

【平成23年度 予算について】

**問** 村長公約の「観光の活性化」の予算はどのよう

**村長** 観光局事業として、冬季観光、山岳観光の推進、インバウンド事業を重点に7700万円、一般会計では、遠見尾根の登山整備、商工会が行う白馬ガレットブランド化事業などに計上しました。スキー人口の減少により観光客は右肩下がり

の状況下にあります。観光立村として、ここを正念場として、観光局を中心

**問** 「トップセールスマン」村長として重要な仕事と考えるが。

**村長** 村長当選以来「私自身がまず営業マン」として掲げています。村への市民



完成が待たれる「神城山麓線」

ランナー、大学・実業団の陸上合宿、学習旅行などの誘致活動に積極的に取り組み役割を果たしたいと考えています。

【道路維持管理について】

**問** 神城山麓線が今年度完成の運びとなるが、飯

森陸橋北信号機から山麓線まで、村道に格上げすべきでは。

**村長** 農道の機能、白馬47スキー場のアクセス道路

など必要性の高い道路との認識はありますが、財政的問題もあり直ちに村道の格上げは考えていません。